



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社 エコミック
コード番号 3802 URL <https://www.ecomic.jp>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日

2024年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	2,156	2.7	172	15.5	183	16.6	127	25.2
2023年3月期	2,216	26.2	203	10.1	220	17.6	170	50.3

(注) 包括利益 2024年3月期 150百万円 (11.5%) 2023年3月期 170百万円 (20.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	32.93		8.2	9.6	8.0
2023年3月期	44.71		13.9	14.4	9.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,110	1,819	86.2	387.70
2023年3月期	1,717	1,299	75.7	340.58

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,820百万円 2023年3月期 1,299百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	205	75	299	1,491
2023年3月期	264	28	72	1,049

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		8.00	8.00	30	17.9	2.5
2024年3月期		0.00		12.00	12.00	56	36.4	3.3
2025年3月期(予想)		0.00		12.00	12.00		34.8	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	669	0.2	180		177		127		27.09
通期	2,300	6.7	225	30.6	230	25.2	162	27.2	34.52

(注) 1. 当社事業の性質上、業績は下半期に偏重する傾向にあります。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	4,693,200 株	2023年3月期	3,815,600 株
期末自己株式数	2024年3月期	60 株	2023年3月期	60 株
期中平均株式数	2024年3月期	3,868,767 株	2023年3月期	3,809,129 株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	2,052	1.0	106	43.5	173	21.2	133	20.0
2023年3月期	2,031	15.7	74	18.6	142	5.8	111	21.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	34.51	
2023年3月期	29.22	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	1,851		1,565		84.6	333.56		
2023年3月期	1,298		1,062		81.9	278.57		

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,565百万円 2023年3月期 1,062百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、このところ足踏みも見られるが緩やかに回復しており、先行きについては雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や、中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国経済の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当業界におきましては、労働力人口の減少や、定期給与及び現金給与総額の増加など、雇用・所得環境が変化する中で、企業の人材不足や労働環境の変化、人的資本経営、SDGsへの取り組み等を背景に、企業の効率化・省力化への動向が続き、事業再構築やBCP（事業継続計画）の手段としてのアウトソーシングニーズは引き続き高い状況でありました。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対しバックヤード業務に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、HRテックの導入などのDXの推進や、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく、「バックヤード業務のソリューションプロバイダー」として付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。また、社員一人ひとりが顧客企業に対して提供すべき価値をエコミックブランドステートメントとして定め、「信用と品質に基づくプロ集団が、ソリューションを提供する」という方針のもと、顧客企業へのソリューション提案を強化してまいりました。加えて、今後の事業拡大に向けた設備投資のための資金調達も実施いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績については、売上高は2,156,112千円（前連結会計年度比2.7%減）、営業利益は172,274千円（前連結会計年度比15.5%減）、経常利益は183,718千円（前連結会計年度比16.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は127,395千円（前連結会計年度比25.2%減）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

(BPO事業)

BPO事業については、前連結会計年度に引き続き、既存顧客との関係強化及び積極的な営業活動、サービス品質の向上を含む顧客満足度向上に向けた施策に取り組んでまいりました。前連結会計年度に比べ、新規顧客の導入関連売上は減少した一方、給与計算処理人数及び年末調整処理人数が増加し、BPO事業の売上高は2,052,428千円（前連結会計年度比1.0%増）、営業利益は194,441千円（前連結会計年度比2.2%減）となりました。

(ソフトウェア・ハードウェア開発事業)

ソフトウェア・ハードウェア開発事業については、株式会社ビズライト・テクノロジーの主力事業として、AI及びIoTに関連するハードウェア製品、ファームウェア製品、そして受託ソフトウェア開発等を行ってまいりましたが、戦略分野への事業集中のため経営資源の見直しを行い、受託ソフトウェア開発及び保守に注力した一方、ハードウェア開発分野を縮小した結果、ソフトウェア・ハードウェア開発の売上高は156,705千円（前連結会計年度比29.1%減）、営業損失は6,468千円（前連結会計年度は営業利益19,542千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,722,368千円となり、前連結会計年度末に比べ451,040千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が442,256千円増加したことによるものであります。固定資産は388,202千円となり、前連結会計年度に比べ58,058千円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金が22,260千円増加した一方、工具、器具及び備品が27,789千円及びソフトウェアが23,280千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,110,571千円となり、前連結会計年度末に比べ392,982千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は174,319千円となり、前連結会計年度末に比べ103,528千円減少いたしました。これは主にその他の流動負債が70,951千円及び未払金が29,983千円減少したことによるものであります。固定負債は116,721千円となり、前連結会計年度末に比べ23,529千円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が20,331千円増加した一方、長期借入金が41,122千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は291,041千円となり、前連結会計年度末に比べ127,058千円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,819,530千円となり、前連結会計年度末に比べ520,040千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益127,395千円の計上により利益剰余金が96,871千円増加したこと並びに新株式発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ199,782千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は86.2%（前連結会計年度末は75.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資活動による支出75,896千円があった一方、営業活動による収入205,759千円及び財務活動による収入299,685千円があったため前連結会計年度末に比べて442,256千円増加し、1,491,545千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は205,759千円（前連結会計年度は264,785千円獲得）となりました。これは主に法人税等の支払額33,247千円及び未払費用の減少81,651千円があった一方、税金等調整前当期純利益の計上183,718千円及び減価償却費の計上106,692千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した支出は75,896千円（前連結会計年度は28,735千円獲得）となりました。これは主に新給与計算システムの運用拡大及び年末調整システムの改修等に伴う無形固定資産の取得による支出39,814千円及びオフィス拡大に伴う敷金及び保証金の差し入れによる支出32,331千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は299,685千円（前連結会計年度は72,596千円使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出51,725千円があった一方、株式の発行による収入382,013千円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率（%）	84.9	75.7	86.2
時価ベースの自己資本比率（%）	131.7	114.6	101.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	—	159.4	179.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	914.1	404.2	125.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 当社グループは、2022年3月期については、期末有利子負債がないためキャッシュ・フロー対有利子負債比率については記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、30年来続いてきたコストカット型経済から持続的な賃上げや活発な投資がけん引する成長型経済へ変革が期待されるものの、世界的な金融引締めに伴う影響や、中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国経済の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

企業はテレワークや時差出勤等の労働環境の変化に対応しながら、人材の確保及び生産性の向上を図り、管理間接部門の機能を止めることなく企業を存続させる必要があります。加えて、上場企業などを対象とした人的資本の情報開示の義務化をはじめとする人的資本経営の推進や、デジタル給与払いの解禁に関する法改正に伴い、管理間接部門は新たな管理体制を構築する必要があります。

このような環境のもと、企業の講ずる合理化策、リスク回避策の一つがアウトソーシングであると思われま。アウトソーシングを活用することにより、管理間接部門の合理化と同時に管理間接部門が本来行うべき業務への集中を図ることが可能となること、また、DXを通じた働き方の変革やBCP（事業継続計画）対策の手段として、今後もアウトソーシングのニーズはますます高まっていくものと考えております。

以上により、次期の業績見通しといたしましては、売上高は2,300,000千円、営業利益は225,000千円、経常利益は230,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益は162,000千円を見込んでおります。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引者等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,049,289	1,491,545
受取手形及び売掛金	166,408	173,847
製品	5,993	3,685
仕掛品	446	—
原材料	3,886	141
その他	45,385	53,249
貸倒引当金	△82	△101
流動資産合計	1,271,328	1,722,368
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	9,463	7,677
工具、器具及び備品（純額）	81,919	54,129
有形固定資産合計	91,382	61,807
無形固定資産		
ソフトウェア	205,560	182,280
のれん	63,970	48,298
その他	4,694	919
無形固定資産合計	274,225	231,497
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,384	5,220
敷金及び保証金	36,818	59,078
その他	35,450	30,597
投資その他の資産合計	80,652	94,897
固定資産合計	446,260	388,202
資産合計	1,717,589	2,110,571
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,113	24,978
1年内返済予定の長期借入金	33,930	23,327
未払金	42,863	12,880
未払法人税等	6,508	11,651
その他	172,433	101,481
流動負債合計	277,848	174,319
固定負債		
長期借入金	132,223	91,101
繰延税金負債	5,288	25,620
その他	2,738	—
固定負債合計	140,250	116,721
負債合計	418,099	291,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,501	564,284
資本剰余金	199,416	399,199
利益剰余金	703,055	799,926
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,266,937	1,763,375
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	32,552	56,155
その他の包括利益累計額合計	32,552	56,155
純資産合計	1,299,489	1,819,530
負債純資産合計	1,717,589	2,110,571

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,216,238	2,156,112
売上原価	1,501,987	1,505,159
売上総利益	714,250	650,952
販売費及び一般管理費	510,478	478,678
営業利益	203,771	172,274
営業外収益		
受取利息	916	2,987
デリバティブ評価益	—	7,399
受取手数料	3,994	7,016
助成金収入	14,003	6,552
為替差益	3,218	—
保険解約返戻金	—	6,437
その他	387	327
営業外収益合計	22,521	30,720
営業外費用		
支払利息	679	1,636
支払保証料	948	—
株式交付費	—	8,972
支払補償費	4,000	—
為替差損	—	8,319
その他	415	346
営業外費用合計	6,043	19,275
経常利益	220,248	183,718
税金等調整前当期純利益	220,248	183,718
法人税、住民税及び事業税	45,062	32,860
法人税等調整額	4,896	23,462
法人税等合計	49,958	56,322
当期純利益	170,290	127,395
親会社株主に帰属する当期純利益	170,290	127,395

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
当期純利益	170,290	127,395
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	424	23,602
その他の包括利益合計	424	23,602
包括利益	170,715	150,998
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	170,715	150,998

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	360,271	195,247	555,550	△36	1,111,032
当期変動額					
新株の発行	4,230	4,230			8,460
剰余金の配当			△22,785		△22,785
親会社株主に帰属する 当期純利益			170,290		170,290
子会社株式の追加取得		△60			△60
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	4,230	4,169	147,505	—	155,904
当期末残高	364,501	199,416	703,055	△36	1,266,937

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	32,127	32,127	1,143,160
当期変動額			
新株の発行			8,460
剰余金の配当			△22,785
親会社株主に帰属する 当期純利益			170,290
子会社株式の追加取得			△60
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	424	424	424
当期変動額合計	424	424	156,329
当期末残高	32,552	32,552	1,299,489

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	364,501	199,416	703,055	△36	1,266,937
当期変動額					
新株の発行	199,782	199,782			399,565
剰余金の配当			△30,524		△30,524
親会社株主に帰属する 当期純利益			127,395		127,395
子会社株式の追加取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	199,782	199,782	96,871	—	496,437
当期末残高	564,284	399,199	799,926	△36	1,763,375

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	32,552	32,552	1,299,489
当期変動額			
新株の発行			399,565
剰余金の配当			△30,524
親会社株主に帰属する 当期純利益			127,395
子会社株式の追加取得			—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	23,602	23,602	23,602
当期変動額合計	23,602	23,602	520,040
当期末残高	56,155	56,155	1,819,530

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	220,248	183,718
減価償却費	103,407	106,692
のれん償却額	14,366	15,672
売上債権の増減額 (△は増加)	△39,332	△5,799
営業債務の増減額 (△は減少)	3,868	2,864
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,313	6,499
前受金の増減額 (△は減少)	10,152	14,462
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,330	△11,925
未払金の増減額 (△は減少)	13,281	△14,211
未払費用の増減額 (△は減少)	20,916	△81,651
その他	8,085	15,304
小計	352,976	231,626
法人税等の支払額	△92,022	△33,247
法人税等の還付額	3,566	6,350
その他	265	1,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,785	205,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
保険積立金の解約による収入	—	15,472
有形固定資産の取得による支出	△23,642	△25,608
無形固定資産の取得による支出	△61,429	△39,814
敷金及び保証金の差入による支出	△8,487	△32,331
敷金及び保証金の回収による収入	16,645	9,927
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	109,605	—
その他	△3,956	△3,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,735	△75,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	382,013
長期借入金の返済による支出	△35,805	△51,725
社債の償還による支出	△14,000	—
配当金の支払額	△22,791	△30,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,596	299,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,378	12,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	224,303	442,256
現金及び現金同等物の期首残高	824,986	1,049,289
現金及び現金同等物の期末残高	1,049,289	1,491,545

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業内容別のセグメントから構成されており、「BPO事業」と「ソフトウェア・ハードウェア開発事業」の2つを報告セグメントとしております。

「BPO事業」は、給与計算関連サービス、BPOその他サービスを提供しております。「ソフトウェア・ハードウェア開発事業」は、ソフトウェア・ハードウェアの開発・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

I 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	BPO事業	ソフトウェア・ ハードウェア開 発事業	計		
売上高					
給与計算関連サービス	1,912,114	—	1,912,114	—	1,912,114
ソフトウェア・ハードウェア開発	—	184,952	184,952	—	184,952
BPOその他サービス	119,171	—	119,171	—	119,171
顧客との契約から生じる収益	2,031,286	184,952	2,216,238	—	2,216,238
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,031,286	184,952	2,216,238	—	2,216,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,980	35,980	△35,980	—
計	2,031,286	220,932	2,252,218	△35,980	2,216,238
セグメント利益	198,793	19,542	218,335	△14,564	203,771
セグメント資産	1,512,336	220,359	1,732,695	△15,106	1,717,589
その他の項目					
減価償却費	103,605	1,662	105,267	△1,859	103,407
のれん償却額	—	14,366	14,366	—	14,366

(注) 1. セグメント利益及びセグメント資産の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2. 減価償却費の調整額は、未実現利益によるものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	BPO事業	ソフトウェア・ ハードウェア開 発事業	計		
売上高					
給与計算関連サービス	1,926,623	—	1,926,623	—	1,926,623
ソフトウェア・ハードウェア開発	—	103,683	103,683	—	103,683
BPOその他サービス	125,804	—	125,804	—	125,804
顧客との契約から生じる収益	2,052,428	103,683	2,156,112	—	2,156,112
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,052,428	103,683	2,156,112	—	2,156,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	53,021	53,021	△53,021	—
計	2,052,428	156,705	2,209,133	△53,021	2,156,112
セグメント利益又は損失(△)	194,441	△6,468	187,972	△15,689	172,274
セグメント資産	1,994,730	147,463	2,142,194	△31,622	2,110,571
その他の項目					
減価償却費	109,547	2,558	112,105	△5,412	106,692
のれん償却額	—	15,672	15,672	—	15,672

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)及びセグメント資産の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。
2. 減価償却費の調整額は、未実現利益によるものであります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	340.58円	387.70円
1株当たり当期純利益	44.71円	32.93円

- (注) 1. 潜在株式調整後の1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	170,290	127,395
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	170,290	127,395
期中平均株式数(株)	3,809,129	3,868,767

(重要な後発事象)

該当事項はありません。